

指標 3.6.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.6.1 道路交通事故による死亡率

ターゲット 3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

ゴール 3 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

定義及び根拠

- 定義
年間の「路上交通事故による死亡」者数を日本人人口で除したものであり、人口10万人当たりで表される。
- 概念
路上交通事故とは、公道上で発生したあらゆる車両事故をいう[すなわち、事故が公道上で始まった場合、公道上で終わった場合、一部が公道上である交通機関が関与した場合も公道上の事故とみなす]。車両事故が公道以外の場所でおきたと特に明記されていない場合は、公道上の事故とみなす。ただし、道路外<オフロード>用モーター車両のみが関係した事故は、それが公道上で起こったという記載がない限り路上外交通事故として分類する。
- 根拠及び解釈
人口動態調査は、各自治体に提出された死亡届を元に死亡票を作成し、死亡票に記載されている死因や状況の記載により原死因を特定している。その原死因から「路上交通事故による死亡」と特定されたものを年間で積み上げたものが「路上交通事故による死亡」数としている。

データソース及び収集方法

人口動態統計

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
路上交通事故死亡率 =
年間の路上交通事故死亡数 / 年間の日本人人口 × 100,000

○ コメントと限界

SDGs では公道又は私道で発生した交通事故による死亡を「道路交通事故による死亡」としているが、人口動態統計では公道上で発生した交通事故は「路上交通事故」として算出出来るが、私道で起こった交通事故は「路上外交通事故」となり、「路上外交通事故」の中より私道で起こったものを区別する事はできない。

SDGs の定義に沿った死亡率を算出することは出来ない為、「路上交通事故」による死亡率のみ掲載した。

データの詳細集計

性別、年齢階級（5歳階級）別に算出は可能であるが、膨大なデータファイルとなるため、総数データを掲載する。

参考

人口動態統計

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

内閣府、警察庁

担当国際機関

世界保健機関（WHO）